



杉並区立杉並第五小学校 TEL3392-6528

Lorsqu'on cesse d'apprendre on cesse d'enseigner
教務主任 藤原和彦

6月6日(水)に、今年度1回目の校内研究授業として、3年生「町たんけん」の授業が保護者にも公開して行われました。研究授業とは、子どもたちに確かな学力をはじめとした「生きる力」を培うために指導内容や指導方法の改善を目指して行います。個人やグループで授業内容や授業方法を研究し、授業を公開し合います。全員で参観し学び合うことで、互いに教師としての力量を高めるため有効な方法です。

近年、様々な教育問題が語られています。また社会の変化もめまぐるしく、絶えず新しい動きを見せています。そんな中、教師の果たすべき役割も多様化してきていますが、このような激動の中にあっても、ずっと以前から不易の役割があります。それは、「教師が子どもと共に学び、教え教わる」ということです。冒険の言葉「Lorsqu'on cesse d'apprendre on cesse d'enseigner (ロス コンセス ダ プフォンドハ オン ドンセニヨ…フランス語の発音を日本語にするのは難しいのでちょっと違いますが)」はサッカーの元フランス代表チームの監督ロジェ・ルメール氏の言葉です。「学ぶことをやめたら、教えることをやめなければならない。」という意味です。彼はZ・ジダンやT・アンリ…といったスーパースターを束ねる監督でした。そんな彼が日本フットボールカンファレンスで、日本のサッカー指導者に向けて発言した言葉です。一国の有能な指導者だからといって、特別なこ

とを言ったわけではありません。彼は指導者にとって最も基本的な姿勢を、ごくごく当たり前に言っただけなのですが、彼の言葉はその場にいた私の胸に突き刺さりました。ちょっと振り返ってみても、「会議がある」「書類を作らないと」などなど、理由は何にせよ、目の前の子どもたちのために学ぶことをおろそかにしている自分がいくつも思い浮かびました。

それ以降、教師という立場から、授業にかかる内容については、できる限り妥協しないようにしています。

社会の構造改革や価値観の多様化など、激動の時代だからこそ、時代の変化に柔軟に、そして前向きに対応できる逞しい子どもたちを育てていかなければなりません。そのためにも、杉五小の教師は、自ら学ぶ姿勢を大切にしていきたいと考えています。そして教材研究に努め、子どもたちに分かりやすく、楽しい授業、そして学力が高まるような授業を目指して、日々努力していきたいと思っています。

今年度、あと4回の校内研究授業、そのほかにも杉並区教育委員会主催の研究授業、杉並区教育研究会主催の研究授業など、数多くの研究授業が実施されます。また、3学期には、今年度の研究の成果を学校公開日に合わせて、保護者・地域に発表する予定です。実施日、内容についてはその都度、学校便りなどでお知らせします。子どもたちの学習の様子はもちろんですが、子どもたちの力を引き出すために、日々“学び続けている”先生方の姿も、ぜひご覧になってください。

今月の目標

生活の目標

後片付けをしっかりしましょう
(一学期の反省をしましょう)



保健の目標

夏を健康に過ごそう
(7・8月です)



給食の目標

好ききらいなく
食べましょう

